

行事の
聴く
お話

ハロウィーンのお話

10月31日は、ハロウィーンです。子どもたちがいろいろな恰好に仮装し、「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!」と言いながら、お菓子をもらって歩きます。英語では「トリック・オア・トリート!」って言うんだって。だけど、どうして仮装するのかな?

ハロウィーンは、外国で昔から続くお祭りです。その国では死んでしまった人の魂が、10月31日に家族のところへやってくると、信じられていました。

しかしなんと、そのときに怖いおばけも一緒についてくると言われていたのです。やってきたおばけにいたずらされたら大変! そこで、人間もわざと魔女や怖いおばけに仮装することになりました。そうすると、おばけが怖がって近づいてこないからです。ちょっと怖い顔のカボチャを飾ったり、大人がお菓子をあげたりするのも、おばけを追い払うためです。

日本にも伝わってきたハロウィーン。日本では、魔女やおばけだけでなく、自分の好きな恰好に仮装して楽しめます。怖いおばけはこないから大丈夫!

みんなはハロウィーンに、何に仮装したいかな?

(おしまい)

● 聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になっても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご利用ください。

